泊村老人ホームむつみ荘広報

アシルとまり

アシルとはアイヌ語で新しいという意味です。

〒045-0202
古宇郡泊村大字茅沼村711番地3
社会福祉法人　黒松内つくし園
泊村老人ホーム　むつみ荘
ＴＥＬ（0135）65-2255

発行責任者 施設長 髙橋　英俊
編集発行　むつみ荘広報委員会

面会等について

当施設では、緊急時を除く入居者様への面会並びに外出・外泊を禁止、「警戒ステージ1」になるまでは対面での面会は行わない事としております。LINE面会については、通常通り予約の受付をしております。御家族の皆様には何かと御不便をおかけしておりますがご理解ご協力を宜しくお願い致します。

手打ちのそばの日

11月22日、給食業務の委託会社ＬＥＯＣ様によるそば打ちの実演を行いました。利用者は目の前で行われる蕎麦打ちの実演を毎回楽しみにされています。「昔は年末によくそばを打ったけど、こんな上手にはできなかったねぇ」とそば打ちの実演を見ながら、そば粉の産地などの説明を聞くことができ、打ち終わったそばを見せてもらい、直接手に触れてみたり食べてみたり、打ちたてのそばのいい香りに「ここで茹でてくれるのかい？」と食欲も掻き立てられたようでした。ユニットに戻り、それぞれ事前に選んだざるそばやかけ蕎麦を職員と一緒に食べ「こういう本物のおそばはなかなか食べられませんよ」、「打ち立てのそばは美味しい」と皆さん喜ばれていました。「年末のおそばも楽しみにしているね」と利用者は今から年末が待ち遠しそうでした。ＬＥＯＣ様ありがとうございました。

原子力防災総合訓練

10月31日防災総合訓練が行われました。今回の訓練は、後志西部で最大震度６強の地震が発生し泊原発3号機で原子炉の冷却が出来ず放射性物質が放出したと想定した訓練となりました。今年は2年振りに利用者の避難先に指定されている、黒松内町にある本法人黒松内つくし園へ避難者の移送訓練を行いました。今回の訓練に初めて参加する職員は、緊張した様子でしたが、万が一に備え新しい職員でも対応出来る様今後も訓練へ参加し、万全を期していきたいと思います。

夢への第一歩
～輝け未来の介護員～

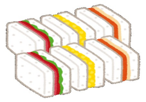
11月9日、10日の2日間、岩内高校2年生1名がインターンシップにきました。移乗介助や食事介助の見学や、日常業務のお手伝い、車椅子を押す体験をしてもらいました。利用者とお話しをしながらアルバムをみて「若いっていいな～」と若い頃の思い出に浸る利用者や、普段はあまり歌わない利用者も実習生と一緒に歌を歌ってくれました。また車椅子を押す体験では、車椅子を押してもらった利用者は、嬉しそうにしていました。インターンシップが終わった後も「今日は来ないの？」と寂しそうにお話しされていました。介護の仕事に興味があり「高校卒業後は福祉系の学校に進学したい」と決めているそうなので、将来の夢が叶うよう陰ながら応援しています。

ユニット紹介 なごやかユニット

特養3階なごやかユニットは、現在利用者9名が生活をされています。12月で101歳を迎える方もおられ、皆さん穏やかに暮されています。イベントの際には職員が利用者に料理を振舞うこともあり、先日は旬の鮭を使ったちゃんちゃん焼きを行いました。「鮭に味がしみ込んでいてとても美味しい」「ごはんが進む」と利用者から好評で、普段はたくさん食べない方もおかわりをしていました。また最近では新しく機能訓練指導員が着任したことで、皆さんレク体操に張り切って参加しています。今後も利用者のより良い暮らしを目指し、職員一同頑張ってまいります。

おやつ作り

10月27日さわやか・おだやかユニットで行われました。ジャムを使用して、一口大の手作りサンドイッチを作りバイキング形式で利用者に好きなものを選んで頂きました。利用者は「わー、綺麗だね！美味しそう」「食べるのが勿体ない」等と喜ばれていました。利用者にとってはいい気分転換になったと思います。12月にユニットで食事会を予定しているので、皆さんに喜んで頂けるイベントにできるよう企画していきたいと思っています。



入居状況

【特養】　2022.11.25

市町村	入居	ショート
泊村	26 名	
岩内町	13 名	
神恵内村	1 名	
共和町	9 名	
寿都町	1 名	
余市町	2 名	
札幌市	1 名	
平取町	1 名	
黒松内町	1 名	
	55 名	０ 名

入居定員数60名
(ショートは空床利用)

むつみ荘では、入居等に関するご相談を随時受け付けております。入居に関するご質問・ご相談は、養護・特養共に【生活相談員】までお気軽にお問い合わせください。

【養護】　2022.11.25

市町村	入居	短期
泊村	21 名	6 名
共和町	6 名	
余市町	1 名	
札幌市	1 名	
	29 名	6 名

入居定員数30名、短期10名

施設長雑感

日増しに寒さが増し、初冠雪も観測されるなど、いよいよ本格的な冬の到来を感じさせる時期となりました。冬季期間におきましては、蔓延が続いている「新型コロナウイルス感染症」に加え、「ノロウイルス感染症」や「インフルエンザ」等、様々な感染症発生のリスクが高まりますことから、本施設では、先月、利用者様と職員に“インフルエンザワクチン”の接種を行いました。また、施設内における感染症の拡大防止に資するため、“吐瀉物処理に関する実地研修”を先月から今月にかけて行っているところであり、さらに今月は通算して5回目となります“コロナウイルスワクチン（オミクロン株対応）”の接種を予定しております。コロナ感染症につきましては、道内で一日の感染者数が1万人を超える日があるなど、感染の拡大が止まらない情勢となっており深刻さがましております。このことから、本施設におきましては、引き続き、マスクの着用・手指消毒及びソーシャルディスタンスの確保等、感染予防対策の徹底を図るとともに、定期的に研修を開催するなどして、職員一人ひとりの意識の醸成や向上を図っているところであります。利用者様・ご家族の皆様をはじめ関係者の皆様におかれましては、引き続きご不自由やご不安を抱かせてしまうこととなり、大変恐縮とは存じますが、今後とも皆様のご理解並びにご支援を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

施設長
髙橋　英俊